※「ライフプランナー」は、ザ・プルデンシャル・インシュアランス・カンパニー・オブ・アメリカの登録商標です。

プルデンシャル生命保険株式会社

東京都千代田区永田町2−13−10　プルデンシャルタワー
市場開発チーム　TEL 03−5501−5070

Prudential

日本M&Aセンター　M&A　Vol.33　2013.8.26

発行所／株式会社日本M&Aセンター　〒100-0005　東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館19階　TEL.03-5220-5454（代）FAX.03-5220-5455
発行人／分林 保弘　編集人／飯野 一宏

M&A

日本M&Aセンター

Vol. 33

2013.8.26

第1回バンクオブザイヤー表彰式

プレミアム全国金融M＆A研究会を開催しました

第2回日本M＆A協会理事総会

2日間で150名の会計人が集結

成功事例ファイル27

横浜テープ工業株式会社&株式会社三景

10月、全国8ヵ所でM＆Aセミナーを開催

すべての会場でM&A体験談がお聞きいただけます!

http://www.nihon-ma.co.jp/

第１回バンクオブザイヤー表彰式開催！！　～役員・部長様方を中心に地方銀行４０行８０名が集結～

“プレミアム全国金融Ｍ＆Ａ研究会”を開催しました

　日本M&Aセンターは、6月17日に、東京ベイコート倶楽部にて、「プレミアム全国金融M&A 研究会」を開催し、提携地方銀行の役員・部長様方を中心に、40 行80 名の方々にご参加いただきました。
　今回は、ご参加いただいている地方銀行様の中で、M&A の実績が目覚ましい銀行を表彰すべく、初めての「第１回バンクオブザイヤー表彰式」を行いました。
　また、基調講演としてジャーナリストの田原総一朗氏をお招きし、ご講演いただきました。

第１回“バンクオブザイヤー”は、北陸銀行様に決定しました！

株式会社北陸銀行（バンクオブザイヤー受賞）
代表取締役副頭取　川合 哲 様（真中右）
常務執行役員東京支店長　志摩 洋一 様（左）
金融サービス室　調査役　森永 智之 様（右）

※職称は当時のものです

～受賞行のご紹介～

賞名	受賞銀行名			
バンクオブザイヤー	北陸銀行様			
バンカーオブザイヤー	百五銀行様			
ディールオブザイヤー	東	山形銀行様	西	大垣共立銀行様
地域貢献大賞	東	秋田銀行様	西	広島銀行様
情報開発大賞	東	北越銀行様	西	北陸銀行様
ベストプランニング賞	東	群馬銀行様	西	京都銀行様
アクティベーション賞	東	北海道銀行様 山梨中央銀行様	西	十六銀行様 中国銀行様

各行のより積極的なM＆A業務を支援するため、来年度も開催させていただきますのでよろしくお願いいたします。

第１回記念講演は田原総一朗氏！

ジャーナリスト田原総一朗氏の基調講演の様子

日本M＆Aセンター
常務取締役 大山敬義

＜当日スケジュール＞

【講　師】 ジャーナリスト 田原 総一朗 氏	「戦後から現代にいたる財界・経済の変遷から今後を読み解く」
【プレゼンター】 日本M&Aセンター 代表取締役社長　三宅　卓	「第１回バンクオブザイヤー表彰式」
【講　師】 日本M&Aセンター 常務取締役　大山　敬義	「アメリカの最新M&A事情と日本の今後」

第２回日本Ｍ＆Ａ協会理事総会を開催

２日間で１５０名の会計人が参加

　日本M&Aセンターは、6月21日に、東京本社にて「第２回日本M&A協会理事総会」を開催いたしました。
　全国の理事会員の皆様にお集まりいただき、各支部の近況報告や、財部誠一氏の特別講演等、有意義な場となりました。
　また、翌22日には、分科会（ヘルスケア・海外）も開催いたしました。

経済ジャーナリスト 財部 誠一氏
「勝ち残る企業の条件 ―個人と組織が成長できるヒント―」

財部氏には、５月２日の報道ステーションで、本誌４～５ページ掲載の横浜テープ工業様、三景様にインタビューしていただきました。

理事総会の様子

＜6月21日　理事総会＞

【講　師】 経済ジャーナリスト 財部 誠一氏	「勝ち残る企業の条件 ―個人と組織が成長できるヒント―」
【講　師】 日本M&Aセンター 常務取締役　大山　敬義	「日本M&A協会　今後の活動方針について」

懇親会　於　シャングリ・ラ　ホテル

後継者不在問題の深刻化等による潜在的なM＆Aニーズの高まりを受け、
日本Ｍ＆A協会理事会員（地域Ｍ＆Aセンター）数が増加しています！
２０１３年３月末　３７５　⇒　２０１３年７月末　４６０
新規入会受付中！　お問合せは０１２０－０３－４１５０まで
※加盟対象：税理士・公認会計士事務所

M＆A成功ファイル２７

～後継者問題の解決・成長拡大のためのM＆A～

２０１３年２月に、当社がお手伝いしてM＆Aを実行された２社の代表、安藤様(横浜テープ工業)と児島様(三景)をお迎えし、M＆Aを決意された理由や当時の心境などをお聞きしました。

当社ホームページでは、これまでのM＆A成功事例を他にも紹介しております。
ぜひご覧ください。
→ http://www.nihon-ma.co.jp

譲渡企業　横浜テープ工業株式会社

所在地	東京都文京区
業務内容	衣料用副資材の製造・販売
売上高	約１７億円(２０１２年３月期、連結)
従業員数	約４００名(連結)

譲受企業　株式会社三景

所在地	東京都江東区
業務内容	衣料用副資材の製造・販売
売上高	約７００億円(２０１３年３月期、連結)
従業員数	約３３００名(連結)

株式譲渡契約調印式にて(２０１３年２月)

株式会社三景
代表取締役社長
児島　康信　様

横浜テープ工業株式会社
代表取締役社長
安藤　満洲夫　様

※職称は当時のもの

～横浜テープ工業様の製品の一部をご紹介～

昭和３６年に日本で初めて生産を始めたプリントネーム
(衣料のネームタグとして利用)

印刷用テープ、各種リボン

―安藤様、横浜テープ工業のご紹介と、M＆Aを検討した経緯をお教え下さい。

安藤　横浜テープ工業は、衣料用副資材(値札、下げ札、洗濯ラベル等)の製造販売会社です。**１９６１年に、日本で初めてプリントネームの生産を始めました。国内では東京、大阪、函館の３拠点、海外では上海(太倉)、東莞、香港、バングラデシュの４拠点を保有し、**世界各国のアパレル企業との取引を通じて、全世界のアパレルの物作りに携わっています。

当初はM＆Aの譲受けを検討しており、２００８年頃日本M＆Aセンターのセミナーに参加し森山さんにご相談させていただいておりました。しかし、**兄であり創業者である安藤克彦が他界したことを機に、後継者不在問題や私自身の健康問題に不安を感じ、２０１１年に自社の譲渡を検討し始めました。**私は今年で７３歳になりますが、社内にいる息子は社長を継ぐ意思がないようでした。外部環境としても、アパレル業界を取り巻くビジネス環境は厳しく、当社は海外に拠点を持つグローバル企業ではありますが、将来的には単独で生き残るのは難しいことが予想されました。**海外拠点で活躍できる人材を確保して安定した業績を上げ続けるため、どこかシナジーのあるお相手に譲渡したい**と森山さんにお伝えしました。

―児島様、三景のご紹介と横浜テープ工業様との提携に至った経緯をお教え下さい。

児島　三景は１９５５年に創業し、服飾資材全般の生産・販売をトータルに手がけています。設立以来半世紀の歴史に育まれた技術やノウハウをベースに、国内トップメーカーとして品質・サービス向上に努めています。現在は、伊藤忠商事の１００％子会社として、アパレル及び服飾資材の分野で多くのブランドやメーカーとの接点を持ち、グローバル展開を加速しています。

しかし、ファッション・アパレル業界では、アジア諸国の影響が拡大し国際レベルでの競争激化が進んでいます。**伊藤忠グループとしても、グローバル戦略を強化するためアジアにおける新たな生産基盤の拡充を進めていました。**そうした時期に、日本M＆Aセンターの吉丸さんから横浜テープ工業さんのお話を伺い、**当社の顧客に横浜テープ工業さんの高品質な副資材を供給することで海外展開を加速できればと考えました。**

―安藤様、三景様を選んだ理由を教えてください。

安藤　**世界各地のブランドと取引を持つ伊藤忠グループと資本関係を締結することにより、新たな顧客を開拓することができ、大きな相乗効果を発揮できる**と思ったからです。**シナジーが明確なので従業員にも説明しやすく、**また将来横浜テープ工業を成長させてくれる企業だと感じ、三景さんにお任せしたいと思いました。

―現状はどうですか？

安藤　役員も社員も活き活きと働いており、非常に安心しております。私は、今年の６月末に約４ヶ月間にわたる業務の引継ぎを終えました。横浜テープ工業は、伊藤忠グループとしてグローバル展開に組織で対応していく体制を整えつつあります。**早めに意思決定して基盤のしっかりした企業に譲渡することができ、本当に良かったです。**

海外の企業は税務や法務の体系が国によって大きく異なるなどリスク要因が多いため、譲渡先が見つかるか不安でした。結果として良いお相手をご紹介頂いた上に、専門的なアドバイスを下さり成約まで導いてくださった森山さん、吉丸さんには大変感謝しています。

児島　**海外での生産拠点を拡充したことにより、国内・海外ともに販売先を広げることができ、相乗効果を得られています。**また、**ラベル等の服飾副資材の海外生産は当社ではほとんど手がけていなかったため、製造から販売まで一貫したサービスを提供できるようになりました。**

今後は、生産から販売までサプライチェーンを更に強化し、各分野で高付加価値を追求していくことで、衣料用副資材の業界最大手としてグローバル展開を加速していきたいと考えています。

報道STATION

今回のM＆Aは、２０１３年５月２日、テレビ朝日系「報道ステーション」の特集『中小企業を救うM＆A』にて紹介されました。

私が仲介しました！～担当者の声～

安藤社長は譲渡を決断するにあたり、社員の継続雇用と事業の継続・発展を最優先されていました。三景社という業界大手かつ伊藤忠グループの傘下に入ることで、社員の皆様も安心され、また様々なシナジー創出・相互連携が可能になりました。グローバル化している市場において、世界で打ち勝っていく企業になりますことを祈念しております。

株式会社日本M＆Aセンター
役員室　上席課長　森山　隆一
(もりやま　りゅういち)

本件は、中堅企業の事業承継というテーマにおいて、典型的な成功事例だと思います。専門領域で基盤を築き上げてきた横浜テープ工業社を、業界大手の三景社がグループに迎え入れることにより、企業の存続が実現し、かつ三景社としても、商材や海外製造拠点の拡充が図れ、グループの更なる発展にも寄与することが期待できます。両社の今後益々のご発展を祈念しております。

株式会社日本M＆Aセンター
事業法人部　課長　吉丸　彰一郎
(よしまる　しょういちろう)

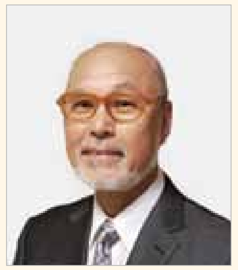
M＆Aセミナー、全国８会場で開催！

～全国各地にて体験談がお聞きいただけます～

２０１３年１０～１１月に「経営者のためのM＆Aセミナー」を開催いたします。多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

友好的M＆Aによる企業譲渡の体験発表　全8会場共通

株式会社富岡調剤薬局　前社長　伊丹 孝 様



実際に会社を譲渡された伊丹様から、中小企業M＆Aの体験談をお話しいただきます

譲渡企業の富岡調剤薬局様は、公立病院の門前薬局をはじめ7店舗を展開し、無借金経営を続けてこられました。しかし、伊丹様は今後『調剤薬局の業界再編』が進み、競争が激しくなることに強く危機感を感じ、自社の更なる発展のためM&Aの検討を始められました。
弊社がマッチングしたメディカルシステムネットワーク様と提携することで、富岡調剤薬局様は人材・店舗運営を強化でき、今後も地域中核薬局として更に発展できるM&Aとなりました。

東　京	１０月２５日(金)	東京国際フォーラム　「ホールB7」
名古屋	１０月２４日(木)	名古屋マリオットアソシアホテル　「タワーズボールルーム」
大　阪	１０月１７日(木)	ヒルトン大阪　「桜の間」
福　岡	１０月１０日(木)	ANAクラウンプラザホテル福岡「クラウングランドボールルーム」
札　幌	１０月２９日(火)	札幌グランドホテル　「金枝の間」
仙　台	１０月３０日(水)	仙台国際ホテル　「平成」
岡　山	１０月１６日(水)	ホテルグランヴィア岡山　「フェニックス」
熊　本	１１月　６日(水)	熊本ホテルキャッスル「キャッスルホール」

開催時間は１３：３０～１６：４０（受付開始は１３：００～）

各会場では、弊社会長分林、社長三宅、常務大山、常務大槻が講演いたします。

お申込・お問合せは、☎ **0120-03-4150**　http://www.nihon-ma.co.jp/seminar/

第６回、第７回『M＆Aシニアエキスパート養成スクール』開講！

ＦＰ技能資格の認定団体でもある、
一般社団法人金融財政事情研究会が認定する
「M＆Aシニアエキスパート」資格の養成スクール！
日本M＆Aセンターはきんざいと共同で運営しています。
ご好評につき、第６回、第７回を開催いたします！

M＆Aシニアエキスパート養成スクールの様子

	日　程	試験日	申込受付期間	実施場所
第６回 大　阪	１１月１３日(水)～１５日(金)	１１月 １６日(土)	８月 １日(木)～１０月２３日(水)	ハービスＰＬＡＺＡ会議室 大阪市北区梅田２－５－２５
第７回 東　京	１１月２０日(水)～２２日(金)	１１月 ２３日(土)	８月 １日(木)～１０月３０日(水)	きんざいセミナーハウス 新宿区荒木町２－３

※日本M＆Aセンター業務提携金融機関、日本M＆Aセンター理事会員、ファイナンシャル・プランニング技能士センター会員の方には会員特別価格がございます。詳しくは下記事務局までお問合せください。

お申込・お問合せは、M＆Aシニアエキスパート養成スクール事務局（株式会社きんざい）まで
☎ **03-3358-0057**　お問合せ受付時間：平日9:３０～１７:３０
http://www.kinzai.or.jp/seminar/detail/172

お知らせ

Information

M＆A成約件数実績のご紹介

第１四半期（４～６月）は４４件（２２組）のM＆A成約を支援いたしました。下記にご紹介いたします。

	譲渡企業		譲受け企業		取引スキーム
	事業内容	所在地	事業内容	所在地	
1	精密プレス	北海道・東北	自動車部品卸	東海・北陸	株式譲渡
2	医療法人	甲信越	医療法人	甲信越	出資持分譲渡
3	給食サービス	甲信越	旅館・ホテル運営	関東	株式譲渡
4	金属部品製造販売	関東	電気機械器具卸売	関西	株式譲渡
5	医療用器具販売	東海・北陸	化粧雑貨卸	関東	株式譲渡
6	金属加工	関東	産業用機械製造	関東	株式譲渡
7	化粧品卸売	関東	ファンド	関東	株式譲渡
8	建築工事	関西	建材卸	関西	株式譲渡
9	調剤薬局	関東	調剤薬局	北海道・東北	株式譲渡
10	土木建築工事	東海・北陸	建設	東海・北陸	株式譲渡
11	建設・不動産	関西	不動産販売	関東	株式譲渡
12	機械製造	東海・北陸	業務用機械製造	関西	株式譲渡
13	電気工事	関東	電気工事	甲信越	株式譲渡
14	アウトソーシング	関東	アウトソーシング	関東	株式譲渡
15	販促サービス	関東	システム開発	東海・北陸	会社分割
16	セールスプロモーション	東海・北陸	セールスプロモーション	関西	株式譲渡
17	ハウスメーカー	北海道・東北	総合リース	関東	株式譲渡
18	金属加工	関東	工業用試作品製造	関東	株式譲渡
19	調剤薬局	関東	調剤薬局	関西	株式譲渡
20	コンテンツ制作	関東	機械製造	関東	株式譲渡
21	リース	関東	リース	関東	会社分割
22	建設	北海道・東北	建設	北海道・東北	株式譲渡

M＆A案件・事例は、日本M＆Aセンターのホームページをご覧ください

1000件を超える案件情報はこちらで ⇒ http://www.nihon-ma.co.jp/anken/

譲渡希望情報・買収希望情報の一部を、下記のような形式でご紹介しております。
ご希望に合致する案件がございましたら、お電話にて案件番号をお伝えください。
また掲載登録をご希望の方は、専用の登録シートのＦＡＸまたはホームページからご登録ください。

＜買収希望情報の一例＞

登録 No.	希望業種	希望エリア	希望サイズ（年商）	備考
1785	設備工事業	九州	規模は問わない	太陽光パネルの取付施工を行う会社を希望

※上記以外にも多くのニーズが登録されておりますので、ぜひご覧ください。

＜案件に関するお問い合わせ＞
お電話にて案件番号をお伝えください。
0120-03-4150

＜登録・掲載方法＞
専用の登録シートをＦＡＸ
またはホームページよりご登録ください。

＜ 編 集 後 記 ＞

全国金融M＆A研究会は、2000年に発足して以来１３年の歴史があり、今回で３９回目の開催となります。今回初めて開催した第１回バンクオブザイヤー表彰式には、地方銀行各行の役員の皆様にもお越しいただきました。
日本M＆A協会理事会員数も順調に増加しており、今後もますます提携機関との連携を深め、多くのM＆Aをご支援してまいります。（く）

発行所：株式会社日本M＆Aセンター（証券コード：2127）
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-3
丸の内トラストタワー本館 19 階
TEL.03-5220-5454（代）/ FAX.03-5220-5455
http://www.nihon-ma.co.jp/
発行人：分林　保弘
編集人：飯野　一宏